

● 大日本コンサルタント株式会社

ホスティング利用とネットワーク刷新で 運用負荷の軽減と通信コスト削減を実現

道路や橋梁の設計などを行う大日本コンサルタント株式会社(以下、大日本コンサルタント)。同社では、BCP(事業継続計画)への対応、運用負荷の軽減を目指し、情報系システムのサーバ運用をソフトバンクテレコムにアウトソースすることにしました。さらに、既存の広域イーサネットを「ULTINA Wide Ethernet」に切替え、年間約30%のコスト削減にも成功しました。

◆ 課題と効果 ◆



大日本コンサルタント株式会社
業務統括部 総務部 部長
橋本 豊氏

課題

全てのサーバを本社内に設置して自社で管理しており、その運用負荷が非常に大きくなっていました。

効果

情報系システムのサーバ運用管理をアウトソース。運用負荷が軽減されただけでなく、社員だけでは困難だった24時間365日の監視体制も実現し、安心感が増しました。



大日本コンサルタント株式会社
業務統括部 情報システム室 係長
長岡 尚登氏

課題

データセンターの活用や運用体制変更の検討に伴い、ネットワーク全体の構成や費用対効果を見直したいと考えました。

効果

ネットワークをソフトバンクテレコムの「ULTINA Wide Ethernet」に切替え、アクセス回線には、コストメリットの高い「Etherコネクト」を採用。データセンターへのアクセスには、100Mの広帯域な回線を利用したにも関わらず、年間約30%のコスト削減を実現しています。

導入の背景

自社内設置のサーバ運用が負担に

道路、橋梁の建設といった公共事業において、事前調査や設計、施工管理、既存施設の保全などを行う総合建設コンサルティング業の大日本コンサルタント。日本各地に45の拠点を配置し、国や様々な地方自治体の社会基盤整備を支援しています。

このように広範かつ多岐にわたるビジネスを効率的に行うには、ITシステムやネットワークが不可欠。「そこで、当社では、業界に先駆けて、情報共有のためのファイル共有システム、大容量の図面データをやりとりするためのネットワークなどを整えてきました」と同社の長岡 尚登氏は話します。

しかし、ビジネスにおけるITの重要性が高まれば、トラブル時のリスクも高まります。また、同社では、全てのサーバを自社内に設置しており、その運用負荷も解決したい課題でした。そこで、情報系サーバの運用管理をアウトソースすることを検討。「BCP対策と運用負荷の軽減という目的のためには、監視体制が整った専門事業者に頼んだ方が賢明だと判断したのです」と同社の橋本 豊氏は続けます。背景には、日々の運用管理やヘルプデスク業務に追われがちなシステム担当者を経営課題解決のためのIT戦略実施に割り当てたいという思いもありました。

選択のポイント

サービスの網羅性と一括提供してもらえる点を評価

アウトソース先の選定にあたり、同社は、複数の企業に提案を依頼。最終的に採用したのはソフトバンクテレコムでした。大前提にあったのは、ネットワークの信頼性でしたが、サービス選択の柔軟性が採用の決め手になったと長岡氏は言います。「Webサーバのホスティング、スパムフィルタリング、ウイルスチェックといった我々が求める機能が個々のサービスとして用意されており、必要に応じて

自由に選択できるだけでなく、それらをワンストップのサービスで提供してもらえる点を評価しました」(長岡氏)。

また、既存の閉域網についても、ソフトバンクテレコムから、アクセス回線に「Etherコネクト」を利用することで、大幅にコスト削減が可能となる「ULTINA Wide Ethernet」導入の提案を受け、その案を採用。ネットワークの切替えにも着手することにしました。

Case Study 大日本コンサルタント株式会社

導入の概要と効果

ネットワークを増強したにも関わらず通信コストが削減

今回、同社が再構築したネットワークの構成は、主要拠点とデータセンターを結ぶネットワークにソフトバンクテレコム「ULTINA Wide Ethernet」、アクセス回線には「Etherコネク」

「これにより、情報系システムのサーバとネットワークに関しては、ソフトバンクテレコムに24時間365日

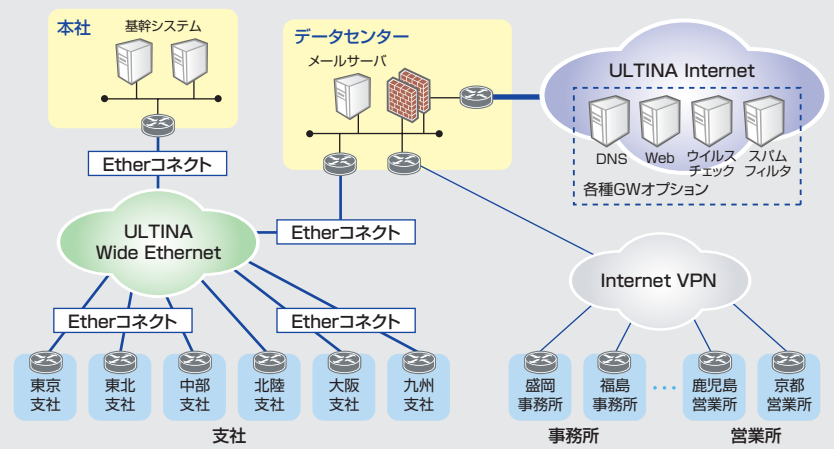
の体制で監視してもらえるようになりました。万一、トラブルがあった場合には迅速な対応が期待でき、安心ですし、もちろん、私たちの運用負荷も軽減しました」と長岡氏は話します。

また、導入効果として通信コストの削減も実現。「Webサーバをホスティングしたり、データセンターへのアクセス回線には100Mという広帯域の回線を利用したにも関わらず、コストメリットの高い『Etherコネク』のおかげで、年間約30%のコスト削減を実現しています」と橋本氏は強調します。

導入したサービス

大日本コンサルタントでは、「ULTINA On Demand Platform」の「シェアードホスティング」、「ULTINA Security Platform」の「メールウイルスチェック共有型」と「スパムフィルタリング共有型」を導入。24時間365日の監視体制とシステムの信頼性、安定稼働を確保し、運用負荷を軽減しています。また、閉域網には、網内を完全二重化し、99.99999%の年間稼働率を達成するなど、高い信頼性を誇る「ULTINA Wide Ethernet」、アクセス回線にはコストメリットの高い「Etherコネク」を採用しました。

サービス利用イメージ



今後の展開

小規模拠点のネットワークの再構築を検討

現在、同社が次の施策として検討しているのが、自社で管理しているインターネットVPNの再構築です。インターネットVPNは、小規模拠点の接続に用いられていますが、機器の設定や障害対応に大きな手間がかかっており、これらを削減するために、ソフトバンクテレコム「ULTINA Managed VPN ライト」の導入を検討しているのです。「ネットワークをソフトバンクテレコムのサービスに統一できれば、それぞれを連携させた情報活用の促進や可用性の高い

ネットワーク運用が可能になると考えています」と長岡氏は、「ULTINA Wide Ethernet」との相乗効果にも期待しています。

ほかにも、同社では、「ソフトバンクコネクカード」や各種ゲートウェイサービスなど、営業担当者の業務効率を向上するようなモバイルソリューションの導入も検討中。ソフトバンクテレコムのサービスをフルに活用することで、さらなる飛躍を目指しています。

大日本コンサルタント株式会社

本社：東京都豊島区駒込3-23-1
設立：1963年1月
資本金：13億9,900万円
従業員数：527名（2007年11月末現在）

事業概要：国民の生活や経済活動と密接に関係する社会資本整備を支援する建設コンサルタント集団として、道路・都市、景観、環境、防災、保全など各分野の調査・解析・計画・設計などの事業を展開。街づくりに欠かせない事業の企画、評価、施設の運用管理などにも注力している。

URL：<http://www.ne-con.co.jp/>

 大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.

